

日本家族看護学会国際交流委員会主催 第2回国際交流セミナー報告書

「タイにおける家族看護学研究と実践の動向」

日時：2018年2月17日（土）12：00～14：30

場所：神戸大学大学院保健学研究科 B202

1. 第2回国際交流セミナーの概要

第2回国際交流セミナーは、Skypeを使用し、タイのBurapha大学看護学部准教授 Wannee Deoisres 博士に、「Family Nursing in Thailand: Education, Practice, and Research」というタイトルでご講演いただいた。タイでの家族看護学の学部教育は、1年時に家族の定義や概念を学び、2年時には家族と疾患について学び、さらに実習で家族へのインタビューを経験する講義と演習が実施されていることについてお話いただいた。学部では、早期の段階で家族看護学の教育が実施されていることがわかった。また、タイ語で書かれた家族看護学の教科書が多く出版されており、家族看護学教育が浸透していることが伺えた。大学院教育では、家族をユニットとしてとらえた高度実践看護について学べるようにカリキュラムが組まれており、家族看護学の大学院教育は、家族看護学の高度実践看護といわゆるプライマリケアのナースプラクティショナーの2種類があるとのことであった。タイでの家族看護学の実践については、ジェネラリストレベルと高度実践看護師レベルがあり、ジェネラリストは家族を患者の背景として捉えているとのことであった。家族看護学研究については、タイで実施された介入研究の動向と、Wannee Deoisres 博士らの研究チームが実施された研究をご紹介します。

2. 参加者へのアンケート結果

第2回国際交流セミナーの参加者へのアンケート結果は、下記に示す。

1) 本企画内容にどのくらい関心がありました？

①とてもあった4、②少しあった3、③あまりなかった0、④全くなかった0

2) 本企画内容は、あなたの実践、教育、研究に役立ちそうですか？

①とても役に立つ4、②まあ役に立つ3、③あまり役に立たない0、④全く役に立たない0
そのように回答された理由についてお聞かせください。

①と回答した方：

- ・日本と似た傾向の文化の国における家族看護の動向を知れたため
- ・タイの家族構成も日本と同じような状況であることは、タイの家族看護学研究も日本へ還元できるように感じた
- ・タイは早い段階で学部から講義を取り入れていることが印象的だった
- ・日本と似たような状況にある国だということがわかり、役に立つ知識が得られたと思う

- ・タイの家族看護学の教育内容について、学部から大学院まで具体的に示していただいたので、とても理解が深まった

- ・Aging Society がすすむタイでの家族の研究の状況がよくわかりました

②と回答した方：

- ・学部教育における家族看護学教育（講義・実習）の参考になった

3) 今後の国際交流委員会に企画して欲しい内容についてお聞かせください。

- ・国際学会での発表や投稿について

- ・急速に発展しているシンガポールのような国の家族看護学の現状を聞けたらうれしいです（アジア圏の国々をまずことはじめに）

4) ご回答いただいた方、ご自身についてお伺いします。

ご所属について

教育機関 4, 大学院生 3

日本家族看護学会の会員ですか？

会員 7, 非会員 0

3. 第2回国際交流セミナーの Web 配信

第2回国際交流セミナーはビデオ収録しており、日本家族看護学会の会員の皆様が Web で閲覧できるように準備中です（下図参照）。閲覧のために必要な URL, ID, パスワードは、後日、電子メールで配信予定です。

タイにおける
家族看護学研究と
実践の動向



Wannee Deoisres 博士
(Burapha University, Thailand)



Family Nursing in Thailand: Education, Practice, and Research

Wannee Deoisres, RN, PhD
Associate Professor
Faculty of Nursing, Burapha University

www.fnppl.info

日本家族看護学会国際交流委員会主催 国際交流セミナー 2018年2月17日(土曜日)

(以上)